

Welcome
to Kawasaki City

川崎市の経営ビジョン

～「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」をめざして～

平成25年3月21日



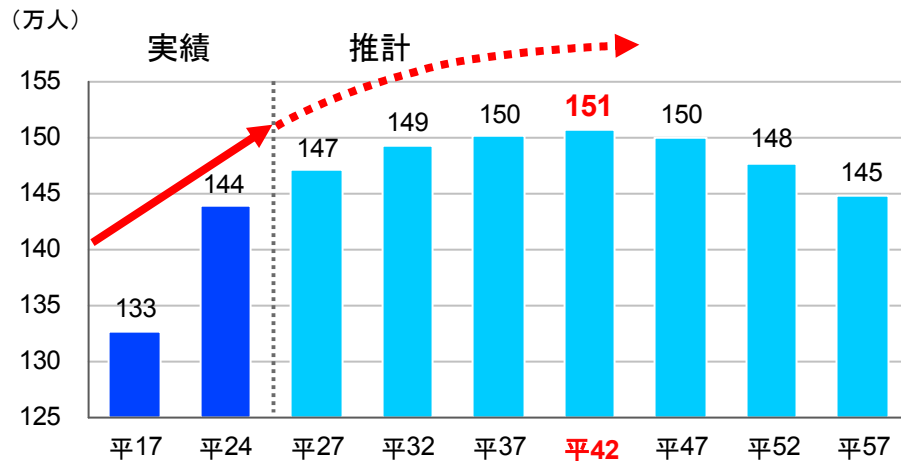
川崎市



元気都市かわさき（1）

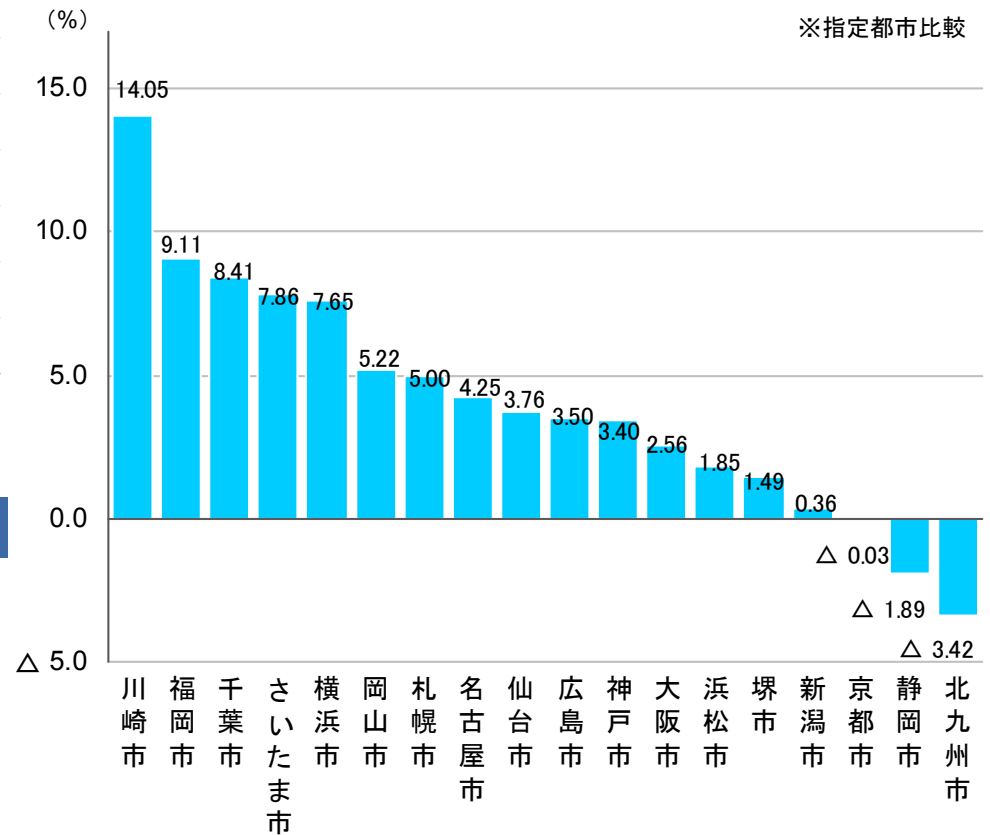
若い世代が支えるエネルギーあふれる都市

人口の増加状況と将来推計

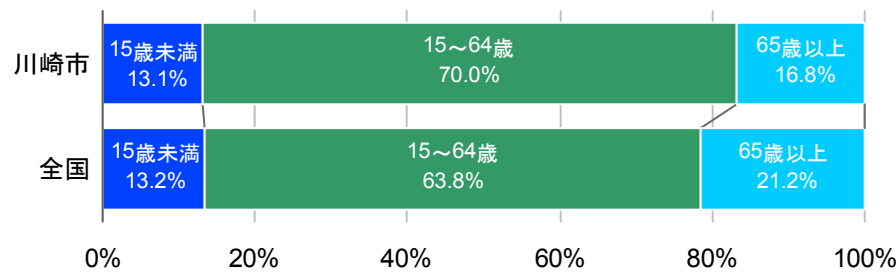


出典：川崎市将来推計人口調査

10年間の人口増加率は他都市を大きく上回る 出生率1位(21年連続※)、婚姻率1位(26年連続※)



年齢構成からみる人口



出典：川崎市年齢別人口ー平成22年10月1日ー

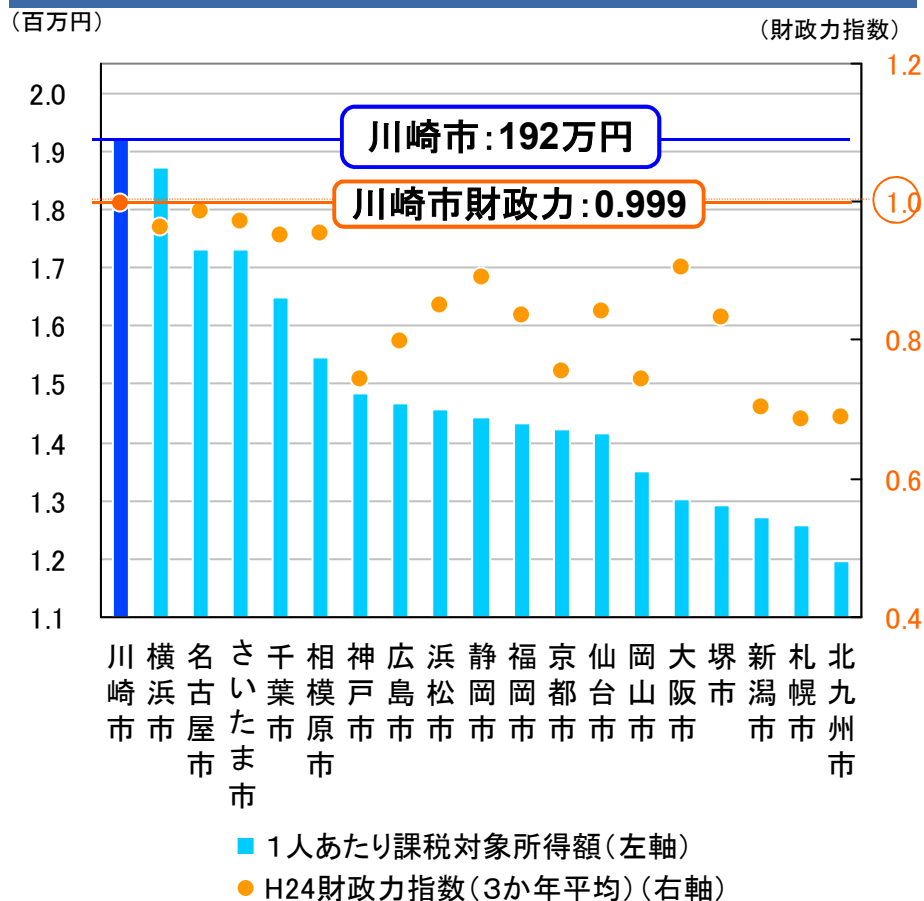
平成12年、22年国勢調査に基づき川崎市が算定
※は大都市比較統計年表(平成22年)



元気都市かわさき（2）

財政力指数、人口1人あたり課税対象所得額は指定都市トップ

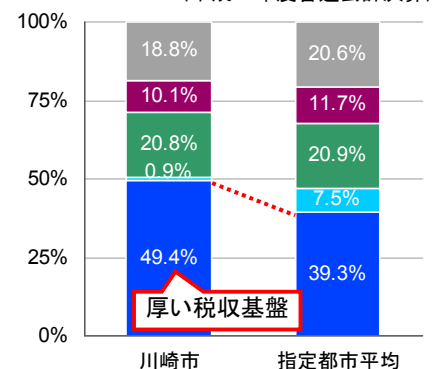
人口1人あたり課税対象所得額、財政力指数



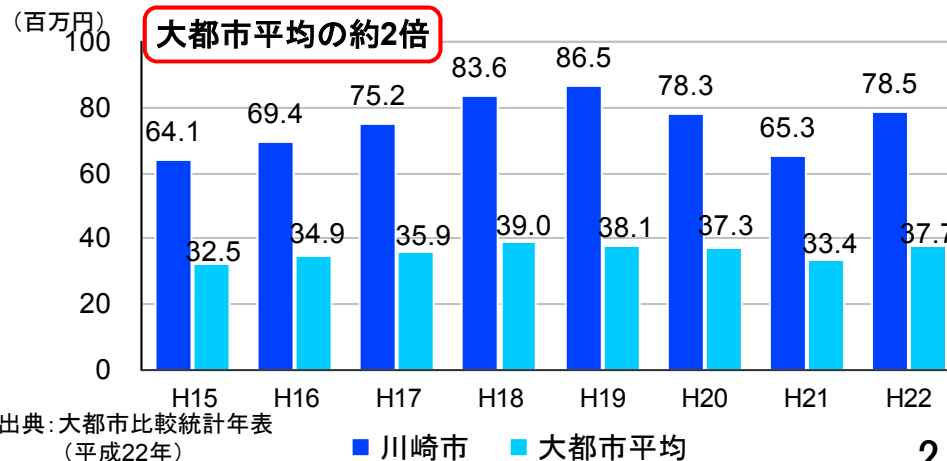
※平成23年度年度市町村税課税状況等の調、決算カードに基づき川崎市が算定

歳入構造

(平成23年度普通会計決算)



従業員1人あたり製造品出荷額等

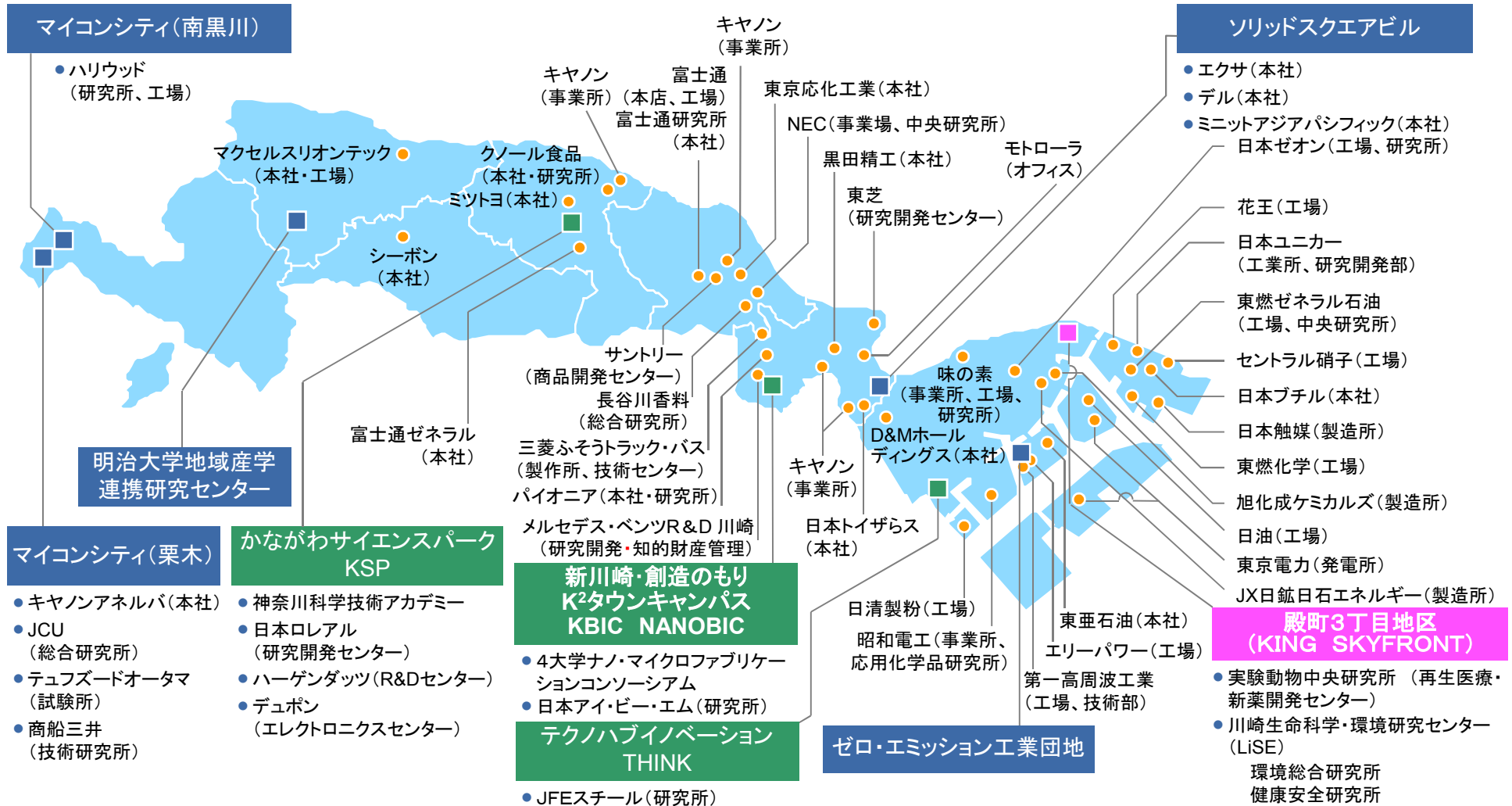


出典: 大都市比較統計年表 (平成22年)



川崎市に立地する世界的企業と研究開発機関

200以上の研究開発機関が立地し、研究者・技術者が集結



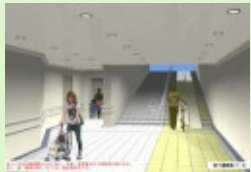


高い利便性と魅力と活気にあふれるまち

川崎市は、首都圏の中心、羽田空港の対岸に位置し、交通アクセスに至便で活力のあるまち
少子高齢化・人口減少社会を見据え、都市拠点を中心としたコンパクトで利便性の高い都市基盤整備を推進

登戸・向ヶ丘遊園駅 周辺地区整備

- 登戸土地区画整理事業
- 向ヶ丘遊園駅連絡通路の整備



新百合ヶ丘駅周辺

武蔵小杉駅周辺地区整備

- コンベンション施設の整備に向けた取組
- 都市機能の集積を図り、利便性の高いコンパクトなまちづくりを進める



JR横須賀線武蔵小杉駅
(H22.3.13開業)



新川崎・鹿島田駅周辺地区整備

- 鹿島田駅西地区再開発事業
- 鹿島田跨線歩道橋・交通広場等整備事業



溝口駅周辺地区整備

- 溝口駅南口広場の整備

羽田空港

- 平成22年10月に新設滑走路、新国際線旅客ターミナルが供用開始
国際定期便が就航
- 京急川崎駅から乗り換えなしで約15分と至近

川崎駅周辺地区整備

- 回遊性・利便性の高い魅力ある都市空間形成へ
- 北口自由通路と新たな改札口の整備に着手
 - 西口ベデストリアンデッキの整備に向けた取組



川崎駅東口駅前広場再編整備
H23.3.26完成

太陽光発電や照明LED化等を導入
エコ化を市内外へ積極的に情報発信

川崎縦貫鉄道

<新技術による川崎縦貫鉄道整備推進検討委員会の提言>
 「新技術を活用した地下鉄の実用化には一定の時間(10~20年)を要する」

提言を受けて

「川崎市総合都市交通計画(案)」において、20年以内に事業着手を目指すべき事業と位置付け、今後も事業推進に向け取り組んでいく



川崎市の中長期的なまちづくりの方向性

高齢化、人口減少が進展する中でも誰もが暮らしやすい生活環境を確保するため、中長期的なまちづくりの方向性を示す4つの「～化」(バケ)を踏まえた取組を推進

コンパクト化



主要駅を中心に効率的に施設を集約するコンパクトなまちづくり

平成25年度の取組 4,594百万円
・武蔵小杉駅周辺の市街地再開発
・新川崎駅周辺の都市基盤施設整備 など



長寿命化

公共施設の定期的・計画的な予防保全型の維持補修を行い長寿命化を推進

平成25年度の取組 9,062百万円
・学校施設の効率的マネジメントの推進
・大規模施設の予防的維持補修の実施 など

4つの「～化」

エコ化

まち全体を環境技術にあふれたショーケースとする取組を推進



平成25年度の取組 4,338百万円
・川崎メカニズム認証制度による温室効果ガス削減量の評価・認証
・スマートシティ戦略の推進 など



ユニバーサル化

高齢者や障害者をはじめ、「誰もが使いやすい」という視点でまちづくりを推進

平成25年度の取組 6,269百万円
・福祉製品におけるかわさき基準(KIS)の推進
・ユニバーサルデザインタクシーの導入促進 など



平成25年度予算

1 平成25年度予算 ～「新たな飛躍」予算～

予算編成のポイント 一般会計の予算規模は5,984億円(前年度比0.5%増)

- ①「川崎の新たな飛躍」に向けた取組を全力で推進
- ②自治基本条例に基づく市民本位のまちづくりに向けた取組を一層推進
- ③行財政改革の取組を確実に反映

一般会計歳入

(百万円・%)

区分	平成25年度		平成24年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
市税	284,398	47.5	279,443	46.9	4,955	1.8
譲与税・交付金	23,535	3.9	24,005	4.0	△470	△2.0
地方交付税	1,461	0.2	1,537	0.3	△76	△5.0
国・県支出金	117,478	19.7	121,133	20.3	△3,655	△3.0
市債	69,904	11.7	71,380	12.0	△1,476	△2.1
その他	101,633	17.0	98,134	16.5	3,499	3.6
合計	598,409	100.0	595,632	100.0	2,777	0.5

- 市 税 : 家屋の新增築等による固定資産税の増、納税者数の増加による個人市民税の増により、市税全体では50億円の増
- 市 債 : 臨時財政対策債の減などにより、15億円の減
- 人 件 費 : 職員数の削減や、共済費の減などにより、11億円の減
- 扶 助 費 : 制度改正により児童手当費が減となるものの、保育所受入枠の拡大による民間保育所運営費の増などにより、35億円の減

一般会計歳出(性質別)

(百万円・%)

区分	平成25年度		平成24年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	314,230	52.5	309,245	51.9	4,985	1.6
人件費	95,954	16.0	97,027	16.3	△1,073	△1.1
扶助費	144,332	24.1	140,821	23.6	3,511	2.5
公債費	73,944	12.4	71,397	12.0	2,547	3.6
投資的経費	89,538	15.0	90,709	15.2	△1,171	△1.3
その他経費	194,641	32.5	195,678	32.9	△1,037	△0.5
合計	598,409	100.0	595,632	100.0	2,777	0.5

2 「川崎の新たな飛躍」に向けた取組

- 災害に強いまちづくりに向けた取組
…総予算額15,768百万円
- 京浜臨海部における国際戦略拠点の形成
…総予算額 2,137百万円
- カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略2013
…総予算額 4,338百万円
- 子育て環境の充実
…総予算額53,470百万円
- 高齢者施策の充実
…総予算額77,593百万円
- 経済・雇用対策の充実
…総予算額89,073百万円

など

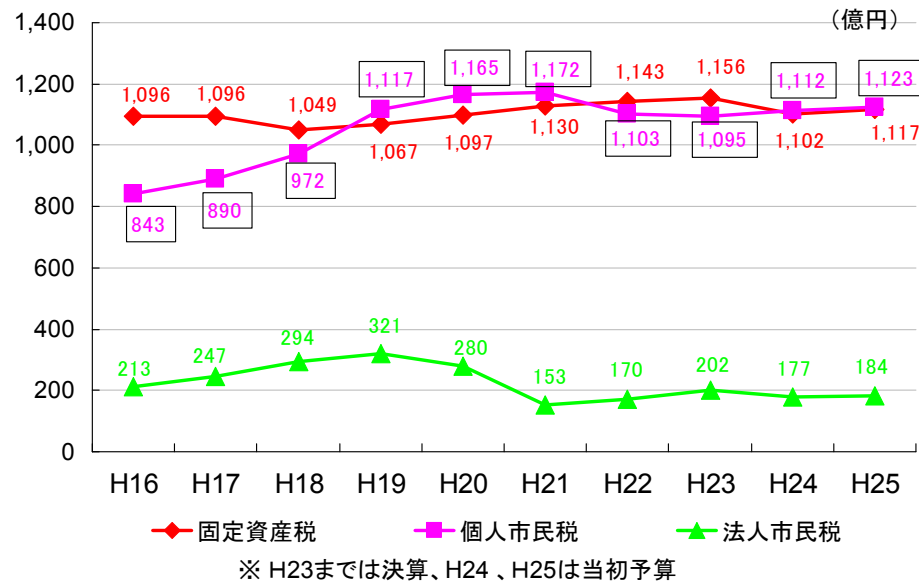
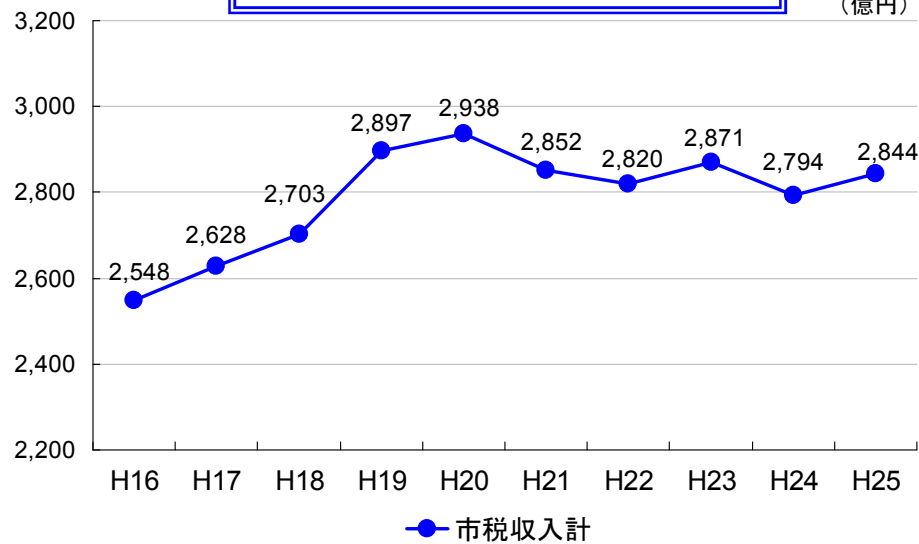
3 国の補正予算への対応

- 国の動き…「日本経済再生に向けた緊急経済対策」
(補正規模 約10兆円)
- 本市の対応
平成25年度当初予算5,984億円に加えて
平成24年度、25年度補正予算などにより130億円の対応
⇒15か月予算としては6,024億円の規模

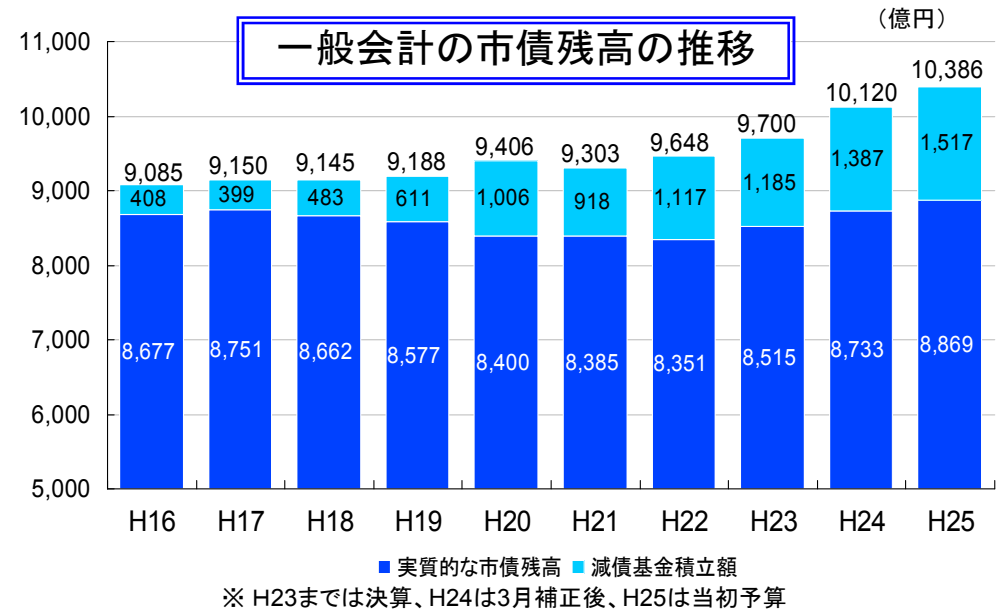


税金、市債残高、歳出(性質別)の推移

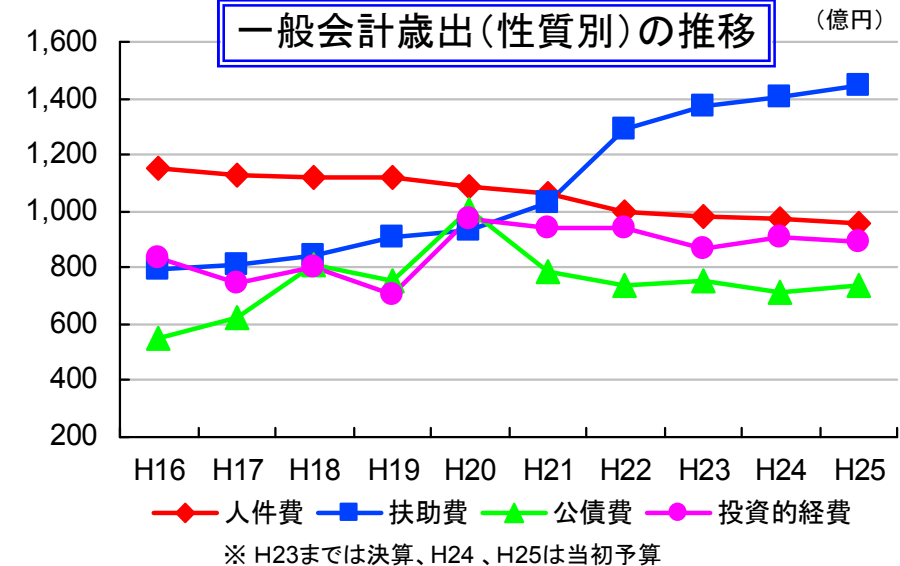
税金の推移



一般会計の市債残高の推移



一般会計歳出(性質別)の推移





行財政改革の取組

「新たな行財政改革プラン～第4次改革プラン～」(平成23～25年度)の実施

これまでの取組(平成14～23年度)
2,733人の職員削減、752億円の改革効果

第4次改革プラン(平成23～25年度)
3年間で約600人の職員削減(減員1,000人、増員400人)

平成25年度予算における行財政改革の効果 85億円
 ・歳入の確保 24億円 滞納債権の対策強化など
 ・歳出の見直し 61億円 人件費(職員160人の削減)など

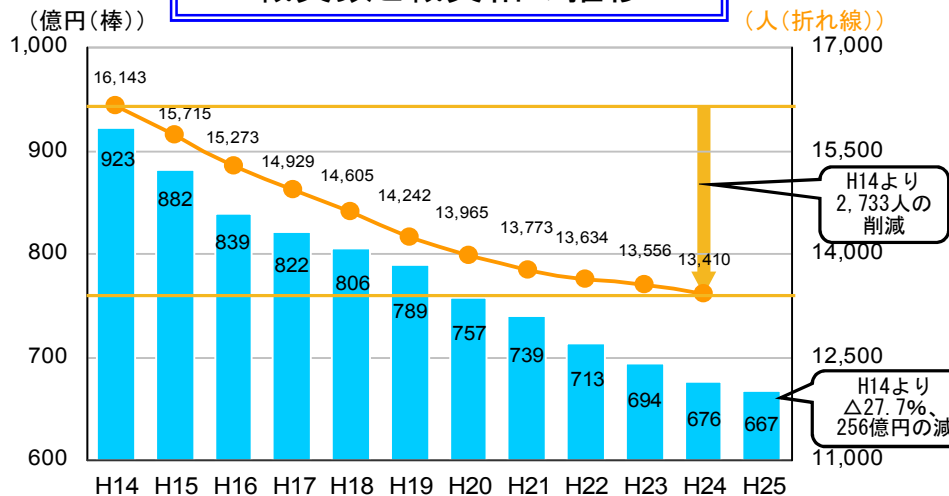
⇒ 平成25年度から実施する新たな取組
 ・川崎認定保育園保護者負担の軽減
 ・中部小児急病センターの開設 など

財政フレーム(平成23～27年度)

健全な財政構造の構築に向けた取組目標

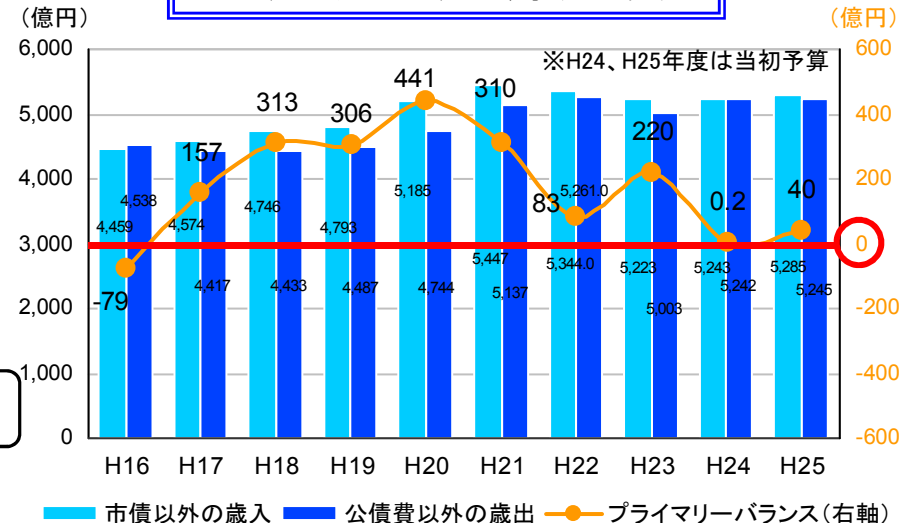
- ① 平成26年度には減債基金からの新規借入を行うことなく収支均衡を図る
- ② 継続的な収支均衡と安定的なプライマリーバランスの黒字の確保を図る
- ③ 資産マネジメント(資産保有量の最適化・施設の長寿命化等)の推進や市債の適正な活用により将来負担の適切な管理を行う

職員数と職員給の推移



職員数は各年度の4月1日現在数

一般会計基礎的財政収支





今後の主な改革と市民ニーズへの対応

上下水道事業のさらなる経営健全化の推進

- ・水道事業のダウンサイジング
100万 m³ ⇒ 75万 m³
- ・施設の再構築、組織再編
などに取り組み、さらなる
経営の健全化を推進

今後の主な取組

平成25年1月：上下水道お客さまセンターの開設
3月：水道サービス公社の解散
4月：水道工事の請負化等の拡充
平成26年度以降：下水道施設の運転管理業務
の委託化拡充
平成28年4月：生田浄水場の水道事業の機能廃止、
執行体制の見直し

- ・施設、管路・管きよの耐震化
- ・東日本大震災を踏まえた危機管理対策
の推進
- ・効率的・効果的な組織体制の整備を推進
- ・水道料金の負担軽減を継続

ごみ収集体制の見直し

分別収集の拡大などにより普
通ごみを減量化し、収集処理
体制の見直しを推進
⇒これにより、4処理から3処
理センター化を実現
(約18億円の年間経費縮減)

今後の取組：平成25年9月
・プラスチック製容器包装の分別収集
を全市に拡大(年間約5.9億円増)
・減量化が進む普通ごみの収集体制
を週3回から2回に変更
(約5.1億円の年間経費縮減)

- ・集積所周辺の環境美化対策
- ・集積所まで距離がある狭あい地域への対策
- ・家庭での生ごみ対応支援や必要な啓発
など

保育所の民営化

民間部門による運営を基本に、
保育所の民営化を推進

今後、民営化を予定する保育園
(毎年3～5園程度を目標)
平成25年4月：出来野、古市場、千年、西宿河原、中野島
平成26年4月：観音町、上小田中、子母口、西有馬、三田

- ・平成23年度からの3年間で4,000人を
超える認可保育所の定員増
- ・認可外保育事業の充実
- ・保育人材の確保・育成を推進



災害に強いまちづくりの推進

東日本大震災の教訓を踏まえて、「地域防災計画」「地震防災戦略」「備蓄計画」の見直し、「臨海部防災対策計画」「津波避難計画」などの新たな計画の策定に向けた取組を実施

これらの計画に基づき、津波対策、帰宅困難者対策、耐震化対策などを推進 平成25年度予算 15,768百万円

主な取組

緊急消防援助隊活動拠点の整備

13,315千円
…全国からの緊急消防援助隊を受け入れるための施設を、宮前区犬蔵の消防総合訓練所内に整備

避難対策の充実

748,492千円
避難所機能の充実…分散備蓄の推進、備蓄物資の充実
帰宅困難者対策の充実
災害時の児童生徒対策…児童生徒一時保護用備蓄物資の整備
など

新たな災害に備える

13,191,610千円
自助力の強化育成
…臨海部の津波対策の推進、民間建築物の耐震化の促進
共助意識の醸成…自主防災組織等の活性化
など

臨海部の防災対策を強化

- ・臨海部にはおよそ6万人が従事しており、石油コンビナート群や危険物施設が集積
- ・一都三県の一般家庭の消費電力の9割に相当する発電能力を有する電力供給施設が集中

⇒臨海部に特化した防災対策の推進が急務

- ・石油タンク等で火災が発生した場合などの避難計画
- ・津波、液状化、長周期地震動等の対策
- ・臨海部における港湾関係者等の孤立化(帰宅困難者等)対策 など

臨海部防災対策計画を平成25年4月に公表予定



川崎市の持続的な成長に向けた戦略

成長が期待される産業分野における取組の推進が重要

ライフイノベーション
の推進

グリーンイノベーション
の推進

ウェルフェアイノベーション
の推進

超高齢化を迎えた
我が国において

環境先進都市の
特徴・強みを活かして

市内中小企業の優れた
技術力を応用して

- ・ 高度な医療ニーズに対応し、国際的な課題解決に寄与
- ・ 日本経済の持続的な発展を牽引

- ・ 低炭素化を推進し、地球環境問題解決に寄与
- ・ 活力ある産業活動を支える

- ・ 利用者ニーズに応えた福祉製品を創出し、国内のみならずアジア諸国の高齢化の課題解決に寄与
- ・ 福祉産業の拡大と活性化

国際貢献と産業創出



川崎市における成長戦略の拠点

川崎臨海部の国際戦略拠点「キング スカイフロント(Kawasaki INnovation Gateway at SKYFRONT)」でのライフサイエンス分野での研究開発、「新川崎・創造のもり」でのナノ・マイクロ技術の研究開発、国内有数の国際貿易港、公害を克服した環境技術の集積など、川崎の強みを生かした成長戦略を推進

「新川崎・創造のもり」

ナノ・マイクロ技術をはじめとした先端技術の産学官連携による研究開発拠点

「キングスカイフロント」

「ライフイノベーション国際戦略総合特区」に指定された、ライフサイエンス分野における国際戦略拠点



エネルギー供給拠点・環境技術の集積

臨海部に立地する首都圏を支えるエネルギー供給拠点と、市域全体に集積する最先端の環境技術

港湾物流拠点

横浜港・東京港とともに国際コンテナ戦略港湾に指定された国内有数の国際貿易港
国内最大級の冷凍冷蔵倉庫群が立地